

令和2年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：多文化社会の異文化「終活」を考えるセミナー
2. 事業種別：共催
3. 申請者：山本 理絵（愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科 教授）
4. 主催：生涯発達研究所・多文化共生研究所
5. 共催：あいち多文化ソーシャルワーカーの会、外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト、多文化ソーシャルワーク・ムーブメント（TSM）
6. 開催日時：令和2年7月11日（土） 13：30～16：30
7. 会場：オンライン（Zoom ミーティング）
8. 登壇者：
〈ブラジルの場合〉
大島ヴィルジニア・ユミ 氏（ブラジリアンコミュニティ通訳サポートの会）
〈インドネシアの場合〉
ラッフマ・クマラ・デウィ 氏（日本インドネシア家族勉強会）
〈中国の場合〉
王榮氏（あいち多文化ソーシャルワーカーの会）
9. 参加者数：50名（一般）

【概要】

愛知県における外国人の「終活」に関する取組について愛知県多文化共生推進室から報告され、在日外国人の「終活」事情としてブラジル、インドネシア、中国の事情について報告された。

最後のディスカッションでは、国籍・地域・文化・宗教・世代等による「終活」の考え方の多様性と共通性に関心を持たれた方が多く、活発な討論がなされた。

【チラシ】

愛知県立大学創設50周年・長久手移転20周年記念事業関連企画

多文化社会の
異文化「終活」を考えるセミナー

外国人高齢者は急増しています。
日本で人生を過ごす人も増えていくと考えられます。
「死」に対する考え方は、文化や宗教、習慣、価値観のちがひによって様々です。
多文化社会では、こうしたことを十分に理解することが大切です。
異文化「終活」は、今後、考えていかなければならない課題です。
このセミナーが、今後の取り組みにつながるよう参加者といっしょに考えていきたいと思います。

日 時：2020年7月11日（土）
13:30～16:30（受付:13:00～）
方 法：Zoomでのオンラインミーティング
参加費：無料

参加を希望される方は、7月9日（木）までに、「セミナー申込」と明記のうえ、以下のメールアドレスまでお申し込みください。
tabunka.social.movement@gmail.com(TSM事務局)

- 1 セミナーの趣旨説明
多文化ソーシャルワークにおける異文化理解の必要性について
- 2 愛知県からの説明
愛知県における外国人の「終活」に関する取組について（愛知県多文化共生推進室）
- 3 在日外国人の「終活」事情
ブラジルの場合：大島ヴィルジニア・ユミ 氏（ブラジリアンコミュニティ通訳サポートの会）
インドネシアの場合：ラッフマ・クマラ・デウィ 氏（日本インドネシア家族勉強会）
中国の場合：王榮 氏（あいち多文化ソーシャルワーカーの会）
- 4 ディスカッション

主催：愛知県立大学生涯発達研究所・多文化共生研究所
共催：愛知県立大学地域連携センター、あいち多文化ソーシャルワーカーの会、外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト、多文化ソーシャルワーク・ムーブメント(TSM)